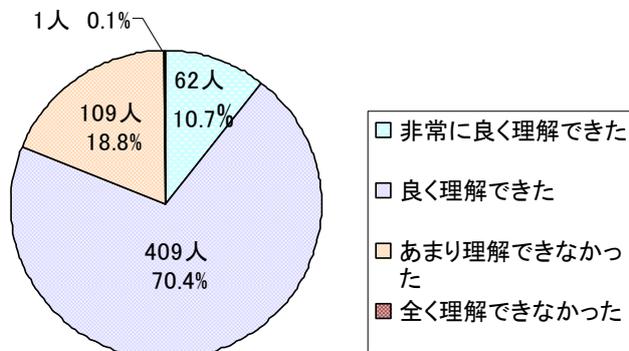


昨年度に作成・公表した「経営・環境レポート2006」について、下水道モニター約1,000人のお客さまにアンケート調査を実施し、581名の方からご回答をいただきました。

アンケート結果と主なご意見を紹介します。

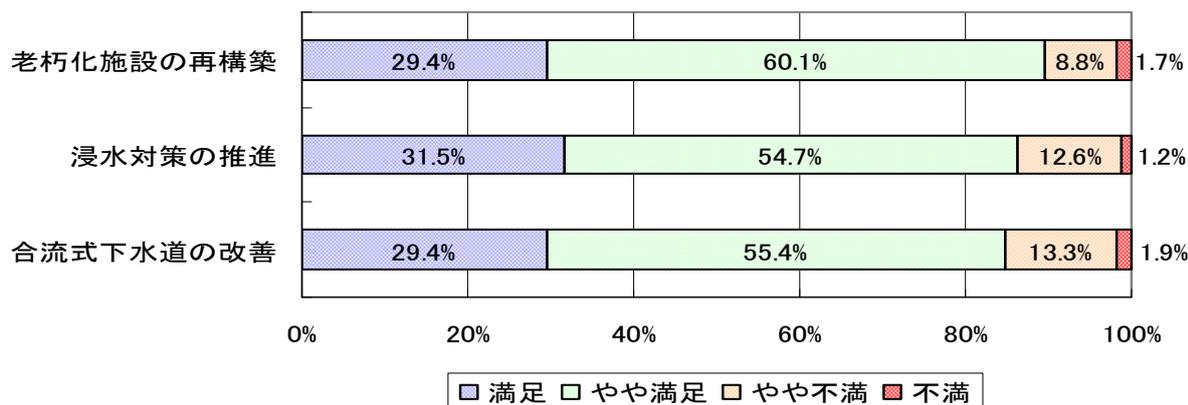
★ 「経営・環境レポート2006」の内容はご理解いただけましたか



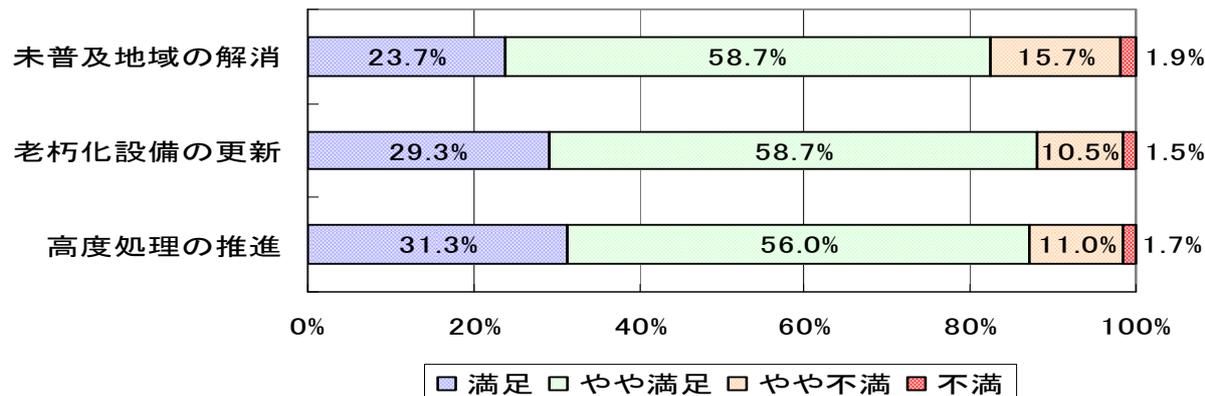
81%のお客さまが理解できたと回答されました。主な意見を紹介します。

- グラフ、表、写真などカラーで分かりやすく説明されていて理解し易く、総体的によくまとめられていたと思う。
- レポートは、一般の私にも分かりやすく、下水道のことが身近に感じられました。

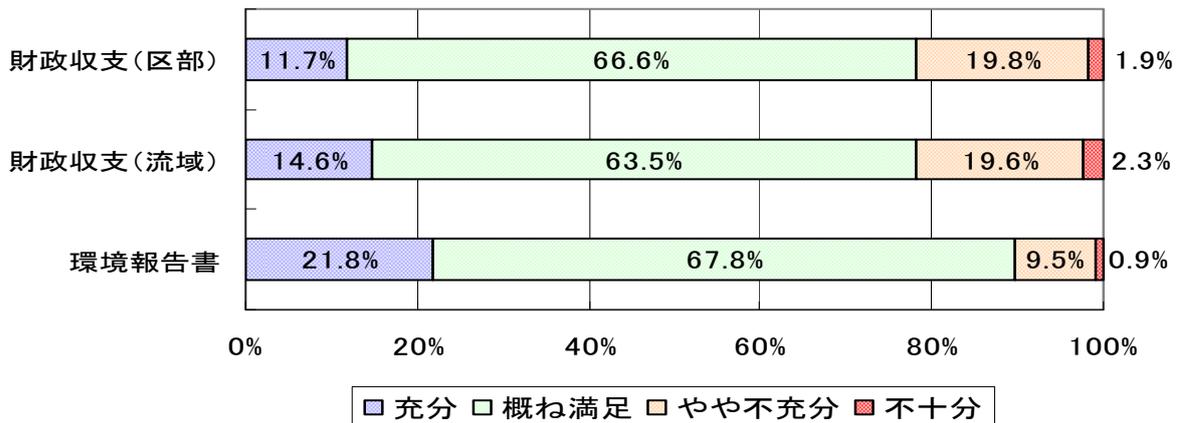
★ 区部下水道事業の主な取組について、満足度をお聞かせください



★ 流域下水道事業の主な取組について、満足度をお聞かせください



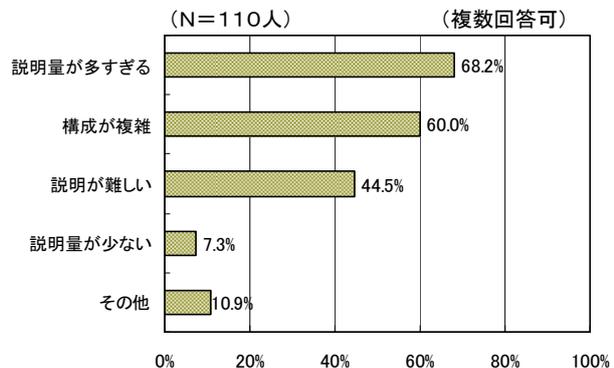
★ 財政収支の状況及び環境報告書の内容について、どう評価されますか



事業の取組については、次のような意見をいただきました。

- 一番の懸念は集中豪雨による浸水でしたが、都市部においての対応に関して言えば、かなりの努力の成果が見られ改善されていると思います。
- 老朽化による下水管の破損。それに伴う道路陥没。写真を見て驚きました。やはり老朽化対策は早急に必要だと思いました。
- 多摩地域における未普及地域の解消について、今後注視していきたいと思いました。
- 下水道局が都内の電力消費の1%を占める膨大な電力を使い、温室効果ガスの43%（都庁の事業活動のうち）を占める最大の排出者となっているという事実には驚きました。私たちが水を汚さない日々の努力をするだけでもかなりの環境保全に役立つのではと思いました。

■ なお、「経営・環境レポート2006」の内容について、「あまり理解できなかった」「全く理解できなかった」を選択した方（19%）の主な理由は右のグラフのとおりでした。
今後とも、より多くのお客さまにご理解いただけるよう、分かりやすいレポートづくりに努めていきます。



主な取組については、各事業とも「満足」と「やや満足」を併せて8割を超える方から満足の回答をいただきました。

お客さまのご意見やご期待を踏まえ、今後とも事業の着実な実施と、より一層効率的・効果的な事業運営を推進し、より多くのお客さまに満足いただける下水道事業を目指します。

